

6月23日(日)～29日(土)は、男女共同参画週間です

「男女共同参画社会基本法」が平成11年6月23日に公布・施行されてから、国は毎年6月23日から一週間を「男女共同参画週間」と定めています。

この週間では、男性と女性が、家庭、職場、学校、地域の中で、それぞれの能力と個性を發揮できる「男女共同参画社会」についての理解が深まることを目指しています。

この機会に、一人ひとりの豊かな人生のために、男女のパートナーシップやワーク・ライフ・バランスについて考えてみませんか？



男女共同参画週間事業 男性料理教室

「お料理男子！！」 ～おいしい笑顔を増やしませんか？～

「男も家事をこなしたい！」「夫婦で分担して、効率的に料理を作りたい」「料理をふるまって、みんなの喜ぶ顔が見たい！」などなど、家族の笑顔が増えるためにチャレンジしてみませんか？

料理の基礎やコツを楽しく学べます。興味のある人はぜひ参加してください。

▶と き 7月15日(祝) 午後2時～5時

▶と ころ えるる3F 調理室

▶講 師 嘉村 健志さん

(管理栄養士・「けんちゃんの料理教室」主宰)

メニュー

「洗い物・切る物が少ない初心者フライパン料理」

- ・揚げない胡麻カツ
- ・トマトのクミン焼き
- ・なすのレンチン南蛮
- ・フライパンでプリン

▶対 象 男性(同伴者として女性1人も参加できます)

▶定 員 20人(応募多数の場合は抽選。当選者のみ連絡します。)

▶参加費 1人 1,000円

▶託 児 5人(1歳～就学前。要申込み)

▶申込締切 7月1日(月)

■申込み・問合せ 人権・同和・男女共同参画課 (☎41-2611)

テレビでおなじみ！
けんちゃん先生と作ります！



【講師プロフィール】

福岡市と山口市で初心者向け料理教室を主宰。管理栄養士の資格を生かしつつ、テレビ、ラジオ出演や食に関する講演会、健康増進に関わるイベントなどで活躍中。

●「女性の人権110番」 弁護士と女性相談員による電話法律相談

▶と き 6月26日(水) 午前10時～午後4時

女性に対する暴力、家庭・職場・社会での女性に対する差別などの問題や、女性の権利全般に関する相談に応じます。

大牟田市男女共同参画センター 女性相談 (☎43-1012)

秘密は守ります。
一人で悩まず、
電話してください。

■問合せ 人権・同和・男女共同参画課 (☎41-2611)

平成30年度 大牟田市の財政状況

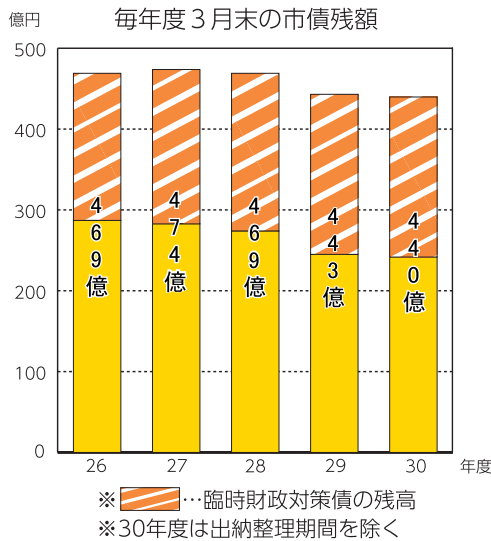
■問合せ 財政課 (☎ 41-2507)

平成30年度の市の財政状況を知ってもらうため、31年3月末日現在の予算の執行状況、財産、市債および一時借入金残高を公表します。

※30年度の収入済額および支出済額は4月から5月までの出納整理期間を経て確定するため、今回お知らせする数値は、決算額とは異なります。確定した決算の内容は12月15日号の『広報おおむた』で公表する予定です。

会計別30年度予算の予算執行状況

会計名	予算現在額	30年4月から31年3月		うち30年10月から31年3月	
		収入済額	支出済額	収入済額	支出済額
一般会計	547億7,460万円	89.7% 491億4,014万円	84.0% 459億9,345万円	45.3% 248億3,293万円	45.2% 247億5,994万円
うち市税	141億1,153万円	99.7% 140億7,093万円	—	43.2% 62億2,801万円	—
特別会計	国民健康保険	90.0% 147億266万円	92.1% 135億3,595万円	53.4% 78億4,564万円	55.0% 80億7,927万円
	介護保険	82.2% 138億1,831万円	87.2% 120億5,534万円	42.1% 56億8,789万円	47.4% 65億5,532万円
	後期高齢者医療	91.0% 20億5,045万円	93.1% 19億861万円	62.3% 12億7,740万円	66.0% 13億5,266万円
	病院事業債管理	65.9% 14億4,232万円	99.5% 14億3,472万円	33.0% 4億7,556万円	66.5% 9億5,916万円



市民一人当たり (30年4月から31年3月)	市民一人当たり (30年10月から31年3月)
使った費用 …401,704円 負担した市税…122,895円 市債残高 …384,347円	使った費用 …216,252円 負担した市税… 54,395円 市債残高 …384,347円

一時借入金の状況	残高 0円 (31年3月末日現在)
市債の状況	残高 440億622万円 (31年3月末日現在)

市債残高は、過疎対策事業債や臨時財政対策債の残高が増加している一方で、全体として新規借入の抑制を行っているため、減少しています。

市有財産の状況 (31年3月末日現在 m²は平方メートル、m³は立方メートル)

土地	3,790,280.88m ²	職員退職手当積立基金	7億999万円	まちづくり基金	9,966万円
建物	497,552.05m ²	国民健康保険高額療養資金貸付基金	200万円	動物園ゆめ基金	3,115万円
立木	3,395.30m ³	わくわくシティ基金	1億18万円	青少年健全育成基金	1,100万円
地上権及び地役権	1,758.32m ²	福祉振興基金	3億2,583万円	九州新幹線湯水対策施設維持管理基金	12億6,344万円
有価証券	3,000万円	人生トリアスロン金メダル基金	162万円	財政調整基金	26億1,239万円
出資金及び出捐金	23億5,605万円	庁舎等建設積立基金	18億9,017万円	安心安全まちづくり基金	1,265万円
出資財産	14万円	ふるさと・水と土保全基金	1,146万円	市立学校施設整備基金	8,685万円
土地開発基金	3億2,650万円	介護給付費準備基金	2億9,412万円	おおむた100若者未来応援基金	9,415万円
廃棄物の埋立地取得及び処理工場建設積立基金	1億円	近代化遺産保存活用基金	4,674万円		

平成30年度 水道事業会計・公共下水道事業会計の業務状況

■問合せ 企業局総務課 (☎41-2840)

水道事業

●平成30年度 決算見込み

給水人口の減少、節水型家電製品の普及や節水意識の浸透等により、水需要は減少傾向にあります。経費削減を進めたことから、10年連続で黒字決算となる見込みです。

30年度に実施した主な工事

- ・小浜町地内外配水管布設工事
- ・甘木配水池緊急遮断弁設置工事

業務量の決算見込み

給水戸数
54,814戸
年間総給水量
10,552,755m³
1日平均給水量
28,912m³

施設を整備するための収入

区分	決算見込額
企業債	1億9,790万円
補助金・負担金・出資金	1億4,748万円
その他	22万円
合計	3億4,560万円

施設を整備するための支出

区分	決算見込額
建設改良費	5億1,494万円
企業債償還金	5億6,939万円
合計	10億8,433万円

不足する7億3,873万円は、減価償却等に伴い発生した資金を充当して収入を補う見込みです。

水道水を届けるための収入

下半期は、10月1日～3月31日の期間です。

区分	決算見込額	うち下半期の額
水道料金	23億6,500万円	11億6,054万円
長期前受金戻入	1億5,986万円	8,275万円
その他	1億5,452万円	1億2,092万円
合計	26億7,938万円	13億6,421万円

水道水を届けるための支出

区分	決算見込額	うち下半期の額
維持管理費	10億7,239万円	5億9,580万円
減価償却費等	7億1,386万円	3億6,354万円
人件費	3億365万円	1億8,032万円
支払利息	1億4,505万円	7,119万円
その他	283万円	49万円
合計	22億3,778万円	12億1,134万円

30年度決算見込みの純利益は、収入と支出の差額4億4,160万円となる見込みです。

公共下水道事業

●平成30年度 決算見込み

多くの人々が下水道を利用できるように整備を進め、普及率は向上しています。このため下水道使用料収入は増加し、9年連続で黒字決算となる見込みです。

30年度に実施した主な工事

- ・吉野汚水第二幹線築造(第1工区)工事
- ・三池汚水第八幹線築造(第2工区)工事

業務量の決算見込み

水洗化戸数
29,303戸
年間総処理水量
8,246,698m³
1日平均処理水量
22,594m³

施設を整備するための収入

区分	決算見込額
企業債	12億5,670万円
補助金・負担金・出資金	13億4,546万円
合計	26億216万円

施設を整備するための支出

区分	決算見込額
建設改良費	24億9,444万円
企業債償還金	13億1,507万円
合計	38億951万円

不足する12億735万円は、減価償却等に伴い発生した資金を充当して収入を補う見込みです。

下水を処理するための収入

下半期は、10月1日～3月31日の期間です。

区分	決算見込額	うち下半期の額
負担金・補助金	15億4,719万円	8億677万円
下水道使用料	12億4,841万円	6億2,014万円
長期前受金戻入	8億6,199万円	4億3,083万円
その他	114万円	68万円
合計	36億5,873万円	18億5,842万円

下水を処理するための支出

区分	決算見込額	うち下半期の額
減価償却費等	17億1,981万円	8億6,180万円
維持管理費	7億9,878万円	4億4,464万円
支払利息	3億7,068万円	1億8,175万円
人件費	2億7,739万円	1億8,760万円
その他	2,747万円	2,730万円
合計	31億9,413万円	17億309万円

30年度決算見込みの純利益は、収入と支出の差額4億6,460万円となる見込みです。